

観光促進セミナーの開催

12月5日、当館は独立行政法人国際観光振興機構（JNTO）と連携し、チリ市場向けに「旅先としての日本」の魅力を発信するため、チリの旅行会社や関連メディアを対象に「観光促進セミナー」を開催し、約80名が参加しました。

JNTOの講師が日本の食文化、自然遺産・文化遺産、主要観光地のモデルケースなどを幅広く紹介し、日本の魅力を効果的に伝えました。また、当館からは、チリも参加する「大阪・関西万博2025」に関するプレゼンテーションを行い、多くの関心を集めました。さらに、特別ゲストとして、ベロニカ・パルド観光次官が日本とチリの観光交流促進への意欲を語り、ケルシー・コーラー・ミスインターナショナルチリ（ミスビジットジャパン観光特使）が自身の日本旅行で体験した魅力を共有しました。

日本は、チリから、太平洋を挟んで約17,000km以上離れた遠い国ですが、歴史、文化、自然、食といった多彩な魅力があります。奈良や京都の歴史的街並み、茶道や生け花などの独自の文化、アニメやマンガといったポップカルチャーが共存し、伝統文化と現代文化の融合が観光客を惹きつけます。北海道の大自然、九州の温泉、沖縄の美しい海など、地域ごとに異なる風景やアクティビティも楽しめます。また、本年12月4日にユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」による日本酒や日本食は、繊細な味わいで世界的に高い評価を受けています。さらに、日本特有の「おもてなし」文化も日本を訪れる大きな魅力です。

本セミナーをきっかけに、日本がチリからの旅先として一層注目され、両国の観光交流が活発化し、ひいては両国の友好関係がさらに深まることを期待しています。



伊藤大使挨拶



JNTO プレゼン（日本観光）



大使館プレゼン (EXPO2025)



コーラー観光特使 (ミス・チリ) 講演



観光次官挨拶と日本酒での乾杯



ミスビジットジャパン観光特使 (ミスチリ)



日本食ブース



日本の酒ブース